

(様式5 実施結果の公表)

史跡真壁城跡保存活用計画（案）
のパブリックコメントの実施結果

令和8年3月

桜川市教育委員会 文化財課

■意見集計結果

令和7年12月15日～令和8年1月13日までの間、史跡真壁城跡保存活用計画（案）について、意見募集を行なった結果、2人から8件の意見の提出がありました。

これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考えをまとめましたので公表します。

提出方法の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数
直接持参	1人
郵便	0人
電子メール	1人
ファクシミリ	0人
その他	0人
合計	2人

■意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	史跡真壁城跡の保存活用にあたっては関連施策との連携が重要である。 →まさにその通りと思います。連携強化をお願いします。	1件	計画通り進めてまいります。
2	ARアプリの導入を検討する →是非とも実施まで到達してください。個人携帯の画面で立体的な真壁城が再現できれば、お城の見える化として立体的に360度ぐるり見ることが出来ればとてもワクワクします。現状の案内板や地図ではお城があったことも想像しにくいです。欲を言えば武士や馬なども入れてその時代に没入できる動画になっていけば最高です。	1件	現在国内各地の先進地の事例を検討しており、利用者にわかりやすく、楽しめるものを作成することを検討しています。 今後策定する『史跡真壁城跡整備基本計画』の中で詳細は決定いたします。
3	史跡と関わりのない施設等の除去 →体育館は稼働率が低く維持費が高いのであれば解体しても良いと思います。トレーニングセンターは城跡のイメージを壊さないのであれば管理事務所や講演会場やトイレや軽食施設等として残しても良いと思います。	1件	史跡と関わりのない施設等は除去することを基本としますが、その利用状況や耐用年数、維持管理費などを総合的に判断し、活用も視野に入れて検討を進めていく予定です。

4	道路案内看板（真壁城跡、真壁の町並み） →車の運転者からは見えにくいので良く見えるように一工夫欲しいところです。	1件	道路案内看板は分かりやすい内容を、見やすい場所に設置することを念頭に関係法令等を考慮しながら検討していきます。
5	現状変更の対象行為 →法的に難しいかもしれませんが、土塁やお濠などある程度復元できれば初見の観光客も城跡としてイメージし易いと思います。	1件	土塁や堀跡については、外曲輪及び中城の一部ですすでに復元整備を進めております。今後も復元が可能な部分については検討を進めてまいります。
6	城と城下町を周遊できるようなモデルコースを設定するなど →リンリンロードを城跡にバイパスさせて自転車での来訪者の増加を図る。	1件	りんりんロードは県道であり、路線の変更は困難ですが、現状の路線はかつて真壁城であった場所を通過しています。今後は案内看板やパンフレット等の整備を進め、自転車での来訪者増を目指していきます。
7	上記意見と一部重複しますが、城跡と周囲の田畑が一体化して見えるのでヤマザクラや真壁石を使って城跡をもっとクリアにして美しく見えるようにした方が良くと思います。	1件	史跡の整備は、発掘調査成果による遺構復元や、花粉分析による当時の植生復元などの根拠に基づき、史跡の歴史的価値を損なわないことを基本としております。一方、来訪者がその価値を理解しやすく楽しんで滞在できるように美しく整備することも重要です。史跡の復元についてはこうしたことを念頭に今後策定する『史跡真壁城跡整備基本計画』の中で詳細を決定いたします。
8	C地区は指定地外の二の丸地区としているが、痕跡が残る旧真壁駅周辺も城跡であったことはあまり知られていない。国指定史跡の西側を含む広大な城であったことを知ってもらうためにC地区は城内跡とし旧真壁駅周辺も含めてもらいたい。 また旧真壁駅周辺のりんりんロードにも真壁城跡の案内図を設置してください。	1件	本計画は史跡の保存活用計画であるため、指定地及びその隣接地を中心とした地区区分となっています。 指定地の西側部分も含めた真壁城跡の全体像や城下町などについては、真壁伝承館歴史資料館での展示や、歴史講座などにより普及啓発を進め、城跡への理解を深めることにより、保存活用に向けた機運を醸成することを企図してまいります。 案内看板については今後設置を検討していきます。